

家畜衛生だより

Animal Hygiene News Letter

第301号

令和8年5月発行



新潟県

発行元：中央家畜保健衛生所
〒959-0423 新潟市西蒲区旗屋 686
TEL 0256-88-3141 FAX 0256-88-3185
Mail ngt066010@pref.niigata.lg.jp

令和8年度の重点実施事項

○ 家畜衛生対策の徹底

- ・発生予防対策：飼養衛生管理基準の遵守、豚熱ワクチンの円滑な接種および免疫付与状況等の確認、野生イノシシへの浸潤状況の的確な把握
- ・まん延防止対策：関係者と連携強化し危機管理体制を整備、発生時の迅速且つ的確な対応のため防疫計画書の整備・防疫訓練等の実施
- ・人材の確保と育成：修学資金制度を活用した産業動物獣医師の確保

○ 生産基盤の強化

- ・意欲ある畜産の担い手を支援する体制・取組への積極的な協力
- ・後継者の育成、円滑な経営継承、経営改善及び衛生対策の推進等を総合的に支援
- ・酪農・肉用牛経営における規模拡大や生産拡大への支援

○ ブランド力の強化、生産性向上及びコスト低減による所得の確保

- ・衛生的飼養管理による安全・安心な畜産物の生産と畜産のイメージアップ推進
- ・畜種別生産性阻害疾病対策による経済損失の低減
- ・新技術の普及：受精卵移植技術を活用した効率的な後継牛及び子牛の生産

令和7年シーズンの鳥インフルエンザ発生状況

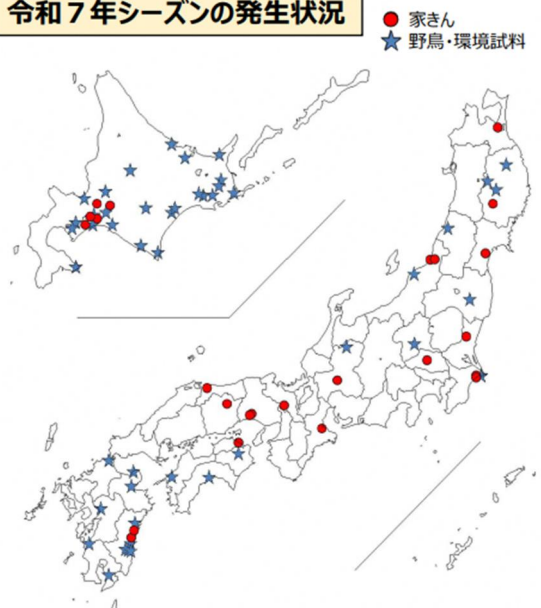
・令和7年シーズンは、家きんでは10月22日に北海道で1例目が確認され、最新発生（4月22日）時点で16道県24事例、約576万羽が防疫措置の対象となりました。

・新潟県においても11月4日と9日に胎内市の採卵養鶏場で連続して発生し、合計約91万羽を対象とした防疫措置が行われました。

・前シーズンの51件、約932万羽より件数と羽数は減少したものの、大規模農場や既発農場での発生が多い傾向でした。

・国は、①大規模農場での「分割管理導入の検討」と、②発生・まん延リスクの高い地域を大臣指定地域（県内2地域を含む全44地域）に指定し、地域内の農場に対して消毒薬の備蓄や野鳥誘引防止対策等の実施を義務付けています。

令和7年シーズンの発生状況



(農林水産省HPより)

韓国で9か月ぶりに口蹄疫が発生!!

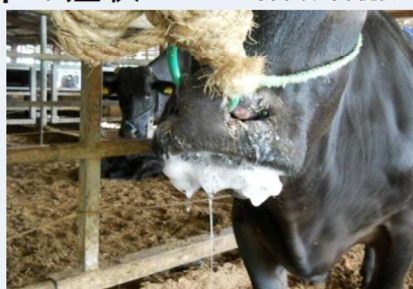
- ・1月30日、韓国の仁川広域市の牛飼養農場で口蹄疫（O型）が発生し、2月には京畿道高陽市の牛飼養農場でも2件の発生が確認されました。空港や港での検疫体制は強化されているものの、国内への侵入リスクは極めて高い状況が続いております。
- ・偶蹄家畜（牛・豚・緬山羊）の飼養者は、飼養衛生管理基準を遵守し、発生予防の徹底をお願いします。

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

(農林水産省HPより)

早めの暑熱対策を！～今年も暑い夏がきます～

年々夏の訪れが早くなっており、今年も猛暑になる可能性があるといわれています。本格的な夏を迎える前に、農場の設備等を再点検して万全を期しましょう。

- 通風・換気の確保（換気扇、ダクト等）
- 送風機の設置・位置調節・清掃
- 寒冷紗・樹木や遮光ネット等の設置
- 屋根・壁・床への断熱材の設置、塗装
- 細霧装置の設置
- 十分な飲水の確保
- こまやかな給餌管理 など



屋根への石灰塗布（全農 JACC 社提供）

《4月から新体制となりました》

本年度も当所業務へのご理解とご協力をお願いします。

*転入者

所長・次長	課・係	課長	副参事	主査・主任・獣医師	
所長 平山栄一*	企画指導課 庶務係	曾我万里子	山家菜摘美	田中健介 早川 毅	植木将之* 小川美知代*
	防疫課	堀江香会		濱田英莉 弥田 進	増門 宙* 岩本美貴
次長 曾我万里子*	病性鑑定課	篠川有理		佐藤圭介 吉崎 響	大川原志織 宮島 柁生

転出者：小林亨吉（退職）、濱崎尚樹（佐渡支所へ）、馬上斉、和食雄一（下越家保へ）、小柳智子（燕中等へ）